

1. 大会スケジュール

<8月29日(日)>

項目	1日目	備考
開門(区分A)	7:50	区分A:大阪府の大学 健康観察票(選手はADカード・マネージャー/チームスタッフは入場券)を持参。
w-up(区分A)	8:00~9:15	1レーン:ペースレーン 0,8,9レーン:ダッシュレーン
開門(区分B)	9:20	区分B:大阪府以外の大学 健康観察票(選手はADカード・マネージャー/チームスタッフは入場券)を持参。
w-up(区分B)	9:30~10:45	1レーン:ペースレーン 0,8,9レーン:ダッシュレーン
マネージャー会議	9:40	会議室⑥前にて実施
計時役員集合	10:50	記録室前
競技開始	11:00	
競技終了予定	17:00	競技終了後,15分をクールダウンの時間とする。17:30までに退館すること。

2. 計時役員について

*発表までしばらくお待ちください



3. 撮影について

- (1)本競技会では、撮影許可証は用意しない。
- (2)プールサイドでの撮影、フラッシュ撮影は禁止する。

4. 場所取り・応援について

- (1)当支部で座席場所を指定している(プログラムに記載)。密を避けるため、**座る際は隣と1席以上空けて利用すること**。荷物等は置くことを許可する。
- (2)控え場所は参加校ごとに割り振られた座席のみとする。なお、観客席下のフリースペースには、人数を制限した上でストレッチスペースとして開放する。使用する際は以下の事項を遵守すること。
 - ① 1区画につき、同時に使用できるのは1人とする。譲り合って使用すること。
 - ② マットなどの用具は使用する選手自身が持参し、終了したら全て持ち帰ること。
 - ③ マットを常設することや、チーム内での道具の使い回しは禁止する。
 - ④ 指示に従わない場合、当該チームの使用を禁ずる、または開放を全面中止する。
- (3)各大学座席割内でのマット等の使用は認めるが、チーム内でも共有せず個人で使用すること。マッサージベット、アイシングバス、トレーニングバイク等の持ち込みは禁止する。
- (4)接触を伴う2人以上でのストレッチは禁止する。また、ストレッチ以外の目的(食事や睡眠など)では使用しないこと。
- (5)観客席の一部をマネージャー席とする。マネージャー以外は一切、マネージャー席に立ち入らな

いこと。また、マネージャー席の利用は各校につき2名までとする。必ず1席以上空けて着席し、譲り合って使用すること。

- (6) 応援について、飛沫を伴う応援は禁止する。メガホン等を鳴り物としての利用も禁止する。
- (7) 各大学で使用した座席は各自で消毒すること。消毒用のアルコールは受付にて借りること。

5. 会場利用について

- (1) 自家用車での来場は禁止する。会場までは公共交通機関を利用すること。
- (2) 会場内、及び会場内周辺は禁煙する。
- (3) 会場内でのテープの使用は、養生テープのみ許可する。
- (4) プール入水の際、頭から飛び込む(ダッシュレーンを除く)等危険行為は行わないこと。
- (5) ペースレーンでのクロール以外のスイムは禁止する。
- (6) プール内でのフィン、パドル、プルブイ、シュノーケル等の道具の使用は禁止する。
- (7) 更衣室に荷物を置いたまま移動してはならない。プールサイドの荷物置場に置くこと。ただし、荷物台は次亜塩素酸を用いて定期的に消毒するため、チームウェアなど自身の荷物を管理するためのビニール袋を持参すること。
- (8) アップ時、監督やコーチを含め、プールサイドに立ち入るときは、必ずチームの服を着用すること。
- (9) 館の物に濡れている物を置いたり、傷つけたりするような行為は禁止する。
- (10) 会場内にゴミ箱は設置しない。ゴミは各自で管理し、必ず持ち帰ること。
- (11) 自身の競技終了後は速やかに退館すること。
- (12) マスクを持参し、館内では常に着けること。
- (13) 競技終了後15分をクールダウンの時間とする。また館内外でのミーティングは禁止する。退館後帰宅までの間、複数人での食事は控えること。

2020年度 第43回 関西学生春季室内選手権水泳競技大会における主催者側の対策事項

(公財) 日本水泳連盟学生委員会関西支部

(公財) 日本水泳連盟学生委員会関西支部

(1)入館時

- ADカードを用いた入館者制限を実施し、入館できるのはチームスタッフ、その日出場する選手、および競技・運営役員のみとする。
- 入館時、入館者全員の体温チェックを、非接触型サーモグラフィカメラを使用して実施する。
- 入館者は全員、2日前からの検温および健康チェックを行う。(入館時に提出)
- 入館時、プッシュ式アルコールを用いて手指消毒を行う。

(2)更衣室・控え場所

- 控え場所は事前に大学ごとに割り振りを行う。原則としてスタンド席のみの使用とし、座席と座席の間は一席開けるようにする。
- シート・毛布・ストレッチポール等の共有は行わないよう促す。使用する場合は、必ず自身専用のものを利用する。
- 更衣室は更衣のみの使用とする。ロッカーは使用禁止とする。(ロッカーの鍵は施錠する。)

(3)ウォーミングアップ・クールダウン

- スタート練習の待機列は、少なくとも1m以上の間隔を保つよう促す。
- マスクは入水時のみ外すようにする。アップへの行き/帰りの際はマスクを着用するよう促す。

(4)招集・レース

- 招集を行う組数は最低限とし、待機時も間隔を開けて待機できるよう席を配置する。
- 招集の案内を場内通告及び電光掲示板で実施することにより招集所に集まる人を減らす。
- マスクはレース準備のためのやむを得ない場合を除いて原則としてマスクを着用するよう促す。レース直前まで、またレース後、息が落ち着いた後はマスクを着用しておくよう促す。

(5)退館時

- チームでのミーティング等は実施せず、自分のレース終了後は速やかに退館するよう促す。

(6)会場内消毒

- 次亜塩素酸を用い、定期的に会場内の共用物品を消毒する。
- プッシュ式アルコールを設置する。

(7)受付・本部

- 競技・運営役員はマスク・フェイスシールドを着用する。
- 用紙・現金の受け渡しがある場合、その都度、プッシュ式アルコールを用いて手指消毒する。
- 競技役員の交代時には、共用用品の消毒を行う。

(8)体調不良者が発生した時の対応

- 対応時には必ず感染予防(マスク・フェイスシールド・手袋等)をした上で対応する。
- 救護役員である医師・看護師の指示のもとに、速やかに体調不良者の隔離を行う。